



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

平成 30 年 10 月 第 1 回市長定例記者会見

- ・日時 平成 30 年 10 月 2 日 (火)
午後 0 時 30 分
- ・場所 市役所本庁舎第 2 応接会議室

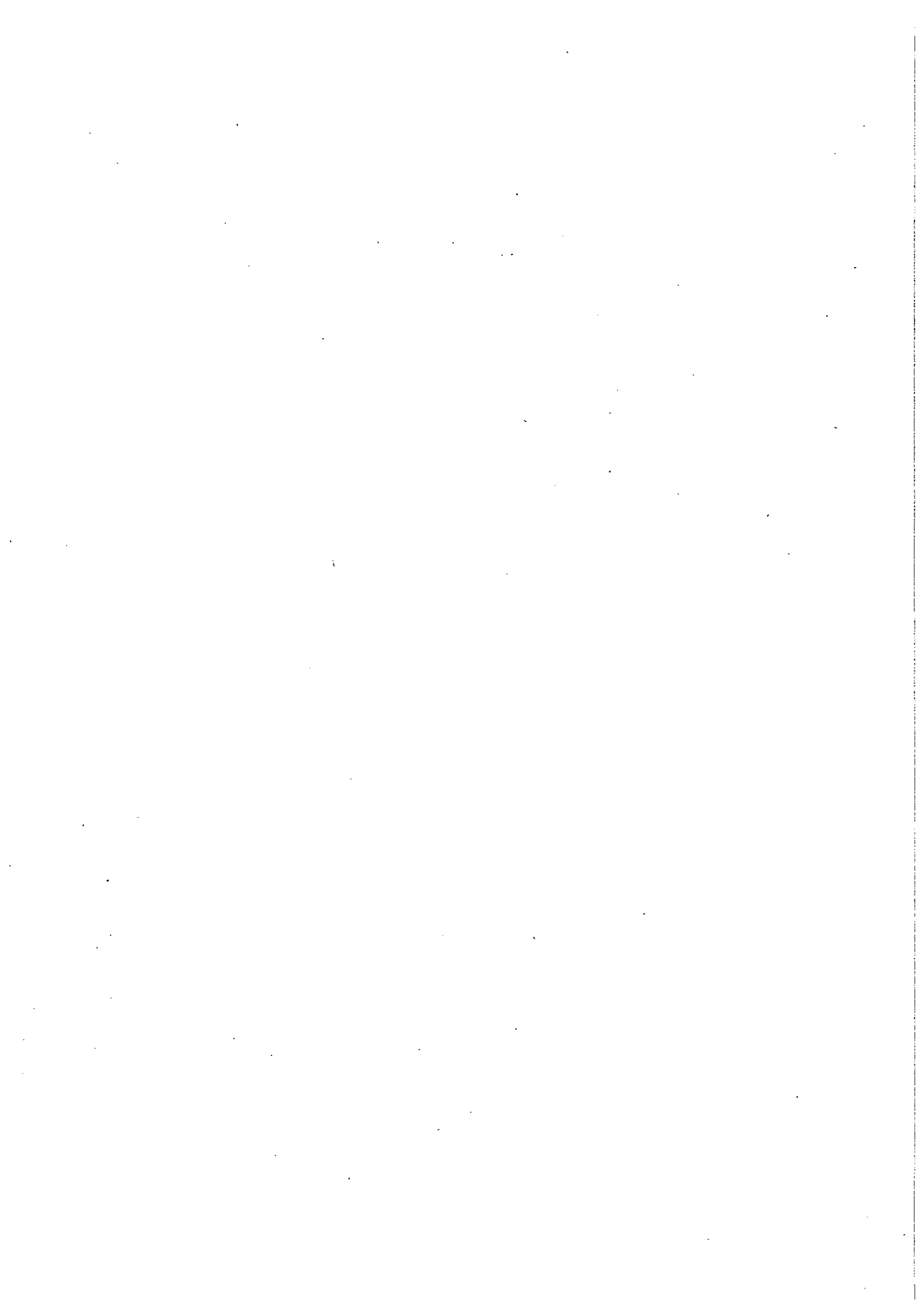
- 1 ふるさと応援寄附金事業の全面見直しについて (資料 1)
- 2 渋川駅前プラザの 1 階完成に伴うオープニングセレモニーの開催について (資料 2)
- 3 「市職員の消防団活動への参加について」の市長メッセージについて (資料 3)
- 4 「日中国交正常化 45 周年及び日中平和友好条約締結 40 周年記念講演」の開催について (資料 4)

その他資料提供

- ・市長との対話集会の実施について (資料 5)
- ・平成 30 年度第 1 回渋川市総合教育会議の開催について (資料 6)
- ・平成 30 年度渋川市市民総合文化祭の開催について (資料 7)
- ・企画展示「龍窯 受け継がれてゆくもの」の開催について (資料 8)

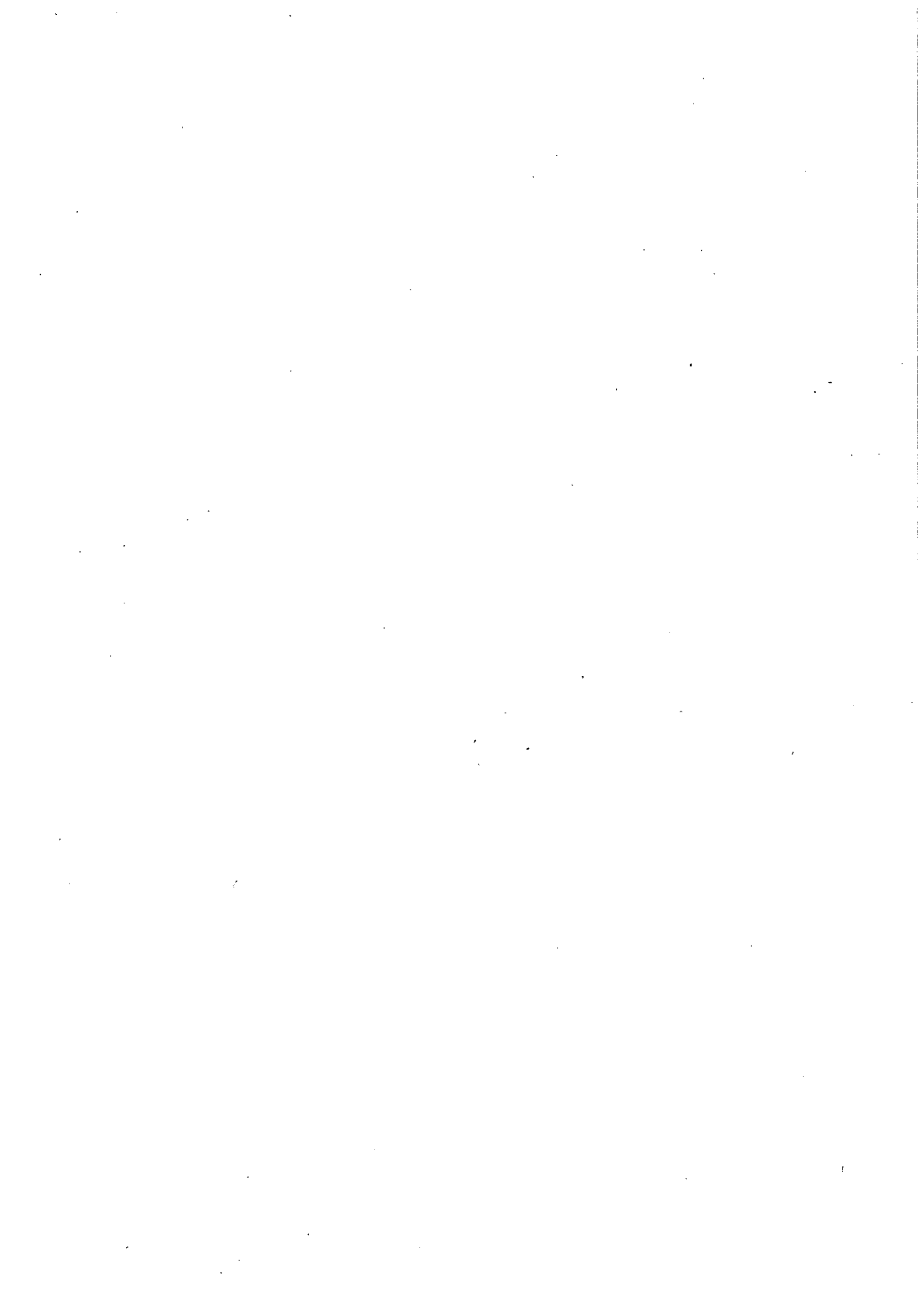
○次回開催予定

日時：平成 30 年 10 月 9 日 (火) 午後 1 時～
場所：本庁舎第 2 応接会議室



市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
10月1日(月)	9:00 終了後	庁議 渋川市地域共生型地域包括ケアシステム推進本部会議	第1応接会議室 第1応接会議室	秘書課 地域包括支援センター
10月2日(火)	10:00 12:30 14:00	優良企業訪問 定例記者会見 優良企業訪問	グローバルピッグファーム(株) 第2応接会議室 大同特殊鋼(株)渋川工場	商工振興課 新政策課 商工振興課
10月3日(水)	14:00 20:40	健康寿命延伸・介護予防に関するトップセミナー(保健福祉部長代理) 自主防災リーダー養成講座(中級:最終日)	市町村会館 第二庁舎204会議室	健康管理課 防災安全課
10月4日(木)	14:00 19:00	企画展「龍窯-受け継がれゆくもの」レセプション 対話集会(PTA関係者)	美術館 第1応接会議室	美術館 新政策課
10月5日(金)	8:30 10:00 10:00 14:00 16:00	群馬県緊急消防援助隊合同訓練 渋川市赤城地区敬老会 第2回渋川市行政改革推進委員会 日中国交正常化45周年及び日中平和友好条約締結40周年記念講演 慶祝訪問	総合公園陸上競技場 赤城スポーツセンターアリーナ 大会議室 ホワイトパーク 該当者宅	防災安全課 高齢福祉課 行政改革推進課 新政策課 高齢福祉課
10月6日(土)	9:00 15:30	市内保育所・幼稚園運動会 親子防災学習会と仮想避難所宿泊体験	各保育所・幼稚園 渋川南小学校体育館	こども課 防災安全課・生涯学習課
10月7日(日)	8:30 10:00	第53回子持地区市民体育祭ほか5地区運動会 古巻地区敬老会(八木原)	各地区グラウンド 八木原会館	各公民館 高齢福祉課
10月8日(月)	8:30 8:30 15:00	古巻地区市民運動会 渋川地区公民館交流レクリエーション大会 アップルフェスティバル2018ミニバスケットボール大会閉会式	古巻中学校校庭 渋川北小学校校庭 子持社会体育館	古巻公民館 中央公民館 スポーツ課
10月9日(火)	9:00 11:30 13:00 13:30 19:00	庁議 広域組合決算審査意見書提出 定例記者会見 広域組合管理者・副管理者会議 渋川山車まつり反省会	第1応接会議室 市長応接室 第2応接会議室 広域組合大会議室 中央公民館	秘書課 広域組合 新政策課 広域組合 観光課



資料1

担当：総合政策部新政策課政策第一係 齋藤 尚 電話0279-22-2396 内線2423

件名：ふるさと応援寄附金事業の全面見直しについて

1 目的

ふるさと納税制度は、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として創設されました。寄付者が寄付を行う際に、各自治体が行きとる施策や事業をえらび、寄付金の使途がえらべることも特徴です。

本市では、これまで渋川市総合計画の重点プロジェクトなどにに基づき、ふるさと応援寄附金の使途を8つの施策に分類してきましましたが、ふるさと納税制度の本旨に鑑み、抜本的な見直しを行います。

具体的には、特徴ある個別の事業を使途として定め、その事業を応援・協力したい人から寄付をいただけるようにします。

また、事業の成果や目的等が分かるような返礼品も順次用意し、渋川市の事業をこれまで以上に応援していただけるようにしていきます。

2 内容

見直し後の新たな使途は、次のとおりです。

- (1) 上三原田の歌舞伎舞台創建200年祭関連事業
- (2) モータースポーツイベントを活用した地域活性化関連事業
- (3) 駅周辺等整備事業
- (4) 遺跡群活用事業
- (5) 人口減少対策事業
- (6) まちなか再生活活性化事業
- (7) 高齢者等移動支援事業

* 詳細は、別添1のとおり

3 返礼品について

個別事業に関連する返礼品を、次のとおり用意しました。

- (1) 上三原田の歌舞伎舞台創建200年祭関連事業
創建200年祭の歌舞伎公演優先閲覧席を返礼品とします。
- (2) モータースポーツイベントを活用した地域活性化関連事業
オリジナルフレーム切手セット「頭文字D ようこそ渋川市へ」を返礼品とします。

* 詳細は、別添2のとおり

4 提供開始日

平成30年10月1日(月)から使途の変更と併せて新たな返礼品の提供を開始します。

5 その他

今後も、個別事業については適時見直しを行い、また関連する返礼品を順次用意し、渋川市への応援を募ります。

ふるさと応援寄付金事業の用途について
個別事業を掲示し、寄附者が活用してほしい事業を選択できるようにします。

1 上三原田の歌舞伎舞台創建200年祭関連事業

上三原田の歌舞伎舞台は、特殊な機構を備えた国指定重要有形民俗文化財として、現在まで保存活用されてきました。

また、舞台操作技術も無形文化財であり、不定期に舞台操作の公開と歌舞伎の公演が行われていますが、平成31年は上三原田の歌舞伎舞台の創建200年の記念すべき年となります。

全国に例を見ない貴重な文化財を次世代に継承するため、創建200年祭及びそれらに関連する事業に使用します。

・関連事業

- (1) 上三原田の歌舞伎舞台創建200年祭事業
- (2) 上三原田の歌舞伎舞台保存活用事業 など

2 モータースポーツイベントを活用した地域活性化関連事業

本市では、これまで全日本ラリー選手権やTOYOTA GAZOO Racingなどのモータースポーツイベントが毎年のように開催され、全国各地からたくさんの方が訪れています。

今後も、地域の活性化及び交流人口の拡大を図るため、モータースポーツイベントを始め市道等の整備、交通安全に関する事業に使用します。

・関連事業

- (1) モータースポーツイベントを活用した地域活性化事業
- (2) 各市道の道路改良事業
- (3) 交通安全施設整備事業 など

3 駅周辺等整備事業

鉄道利用者の利便性の向上、賑わいのある駅前空間の形成、駅前の良好な環境の維持、公共交通の利用促進及び駅周辺地域活性化に関する事業に使用します。

・関連事業

- (1) JR 渋川駅周辺整備事業
- (2) JR 八木原駅周辺整備事業 など

4 遺跡群活用事業

歴史的価値のある金井遺跡群や黒井峯遺跡等、各遺跡の活用や整備、保存に関する事業に使用します。

・関連事業

- (1) 金井遺跡群活用事業

- (2) 黒井峯遺跡整備事業
- (3) 中筋遺跡保存事業
- (4) 瀧沢石器時代遺跡保存整備事業 など

5 人口減少対策事業

少子化と人口減少を克服し、将来にわたって活力ある地域を維持するための事業に使用します。

・関連事業

- (1) 移住者住宅支援事業
- (2) 学校給食費の完全無料化
- (3) 保育料無料化 など

6 まちなか再生活性化事業

空き店舗の活用や中心市街地の活性化やイベント開催など、まちなかの活性化を行う事業に使用します。

・関連事業

- (1) 空き店舗活用にぎわい創出推進事業
- (2) 元気な中心市街地にぎわい創出事業 など

7 高齢者等移動支援事業

高齢者等が日常生活における移動を円滑に行うことができるよう、交通弱者の移動手段の確保に関連した事業に使用します。

・関連事業

- (1) 高齢者等移動支援実証調査事業
- (2) 高齢者運転免許証返納支援事業
- (3) バス利用敬老割引補助事業
- (4) 高齢者温泉シャトルバス事業 など

「上三原田の歌舞伎舞台創建200年祭関連事業」関連返礼品

1 返礼品名

上三原田の歌舞伎舞台 歌舞伎公演優先閲覧席

2 寄付額

10,000円に対する返礼品として設定します。

3 返礼品の内容等

(1) 上三原田の歌舞伎舞台公演優先閲覧席券 1枚(1席分)

(2) その他関連グッズ(冊子 1冊、てぬぐい 1枚、座布団 1枚)

* 公演予定の平成31年11月2日分を100席、3日分を100席、併せての200席の優先席を準備します。

4 返礼品の発送予定

優先閲覧席券は、平成31年7月頃に発送します。また、その他関連グッズは、公演当日の会場で渡します。

「モータースポーツイベントを活用した地域活性化関連事業」関連返礼品

1 返礼品名

オリジナルフレーム切手セット「頭文字D ようこそ渋川市へ」

2 寄付額

10,000円に対する返礼品として設定します。

3 返礼品の内容

(1) オリジナルフレーム切手(62円切手×10枚)・・・1枚

(2) A3二つ折台紙・・・1枚

(3) ステッカー(縦70mm×横148mm)・・・1枚

(4) ポストカード(縦148mm×横100mm)・・・1枚

切手セット「頭文字D」の対応状況

掲載開始日：平成30年10月1日(月)9:00

ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」へ掲載開始

10月2日(火) 9:00時点 ふるさと応援寄付金の申込総数：52件

郵便局の販売状況 確認日：10月2日(火)9:15

10月1日(月)11:00頃に、渋川管内のすべての郵便局で完売。

渋川郵便局では、販売開始前から人が並び、整理券を発行。9:20頃には完売した。

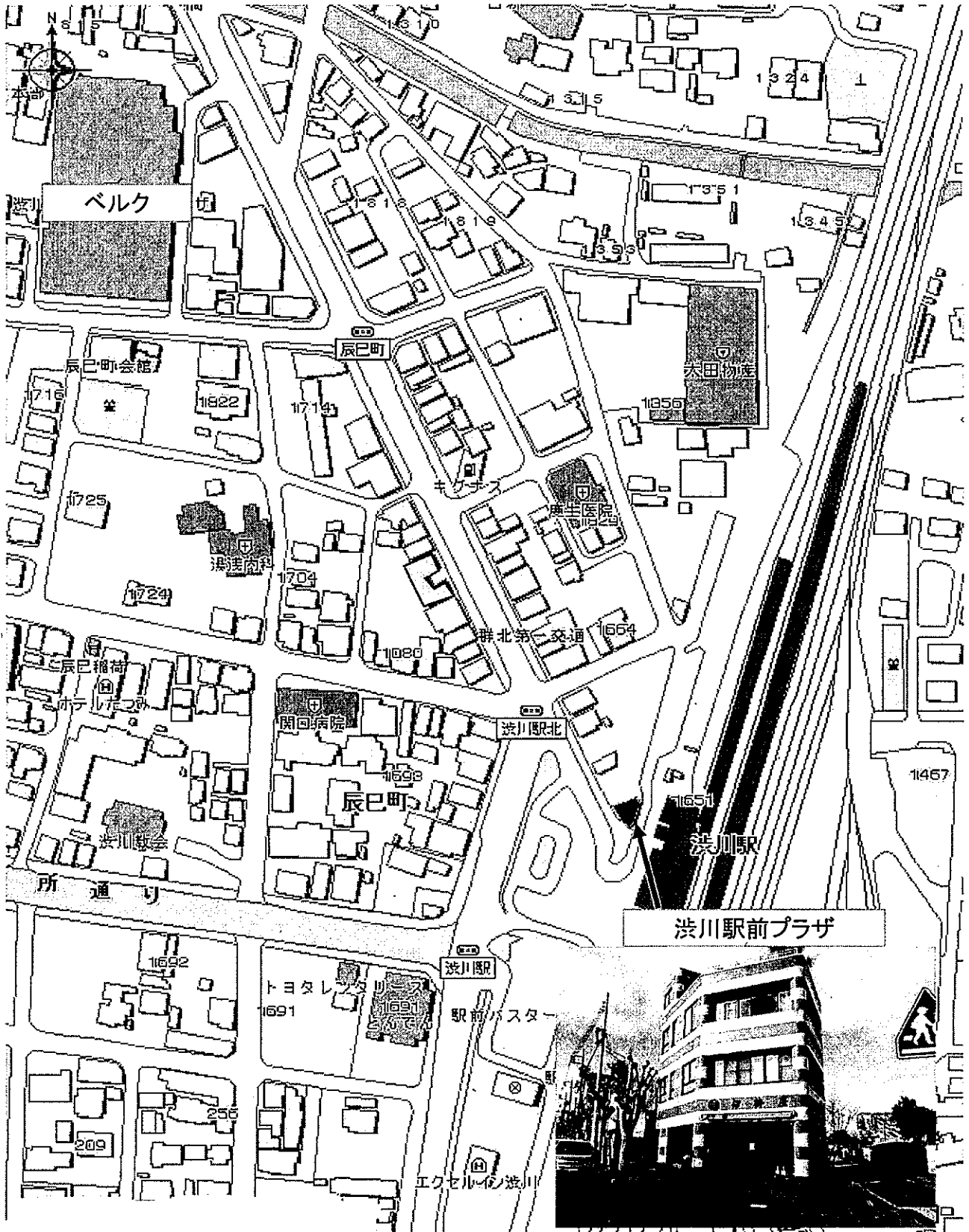
資料2

担当：商工観光部商工振興課 まちなか再生室 小野篤史
電話0279-22-2596 内線4891

件名：渋川駅前プラザの1階完成に伴う オープニングセレモニーの開催について

- 1 目的 渋川駅前プラザの1階完成に伴い、施設を披露するため、全面利用開始前にオープニングセレモニーを開催するもの
- 2 日時 平成30年11月3日（土）午後1時から午後1時30分まで
- 3 場所 渋川駅前プラザ（渋川市渋川1832番地27）
- 4 施設概要 (1) しぶかわ名産品センター「しぶさん」
(2) 渋川駅前証明サービスコーナー
(3) 市民等交流スペース
- 5 その他 (1) しぶかわ名産品センター「しぶさん」のイベント
①渋川地区物産振興協会の会員による模擬店の開催
②ハーモニカライブの開催
③「しぶさん」店内にて抽選会を実施
(2) 渋川駅前証明サービスコーナー設置に伴い、10月1日付けで人事異動が行われました。

案内図



渋川駅前プラザ オープニングセレモニー

次 第

日時 平成30年11月3日(土)

13時00分～

場所 渋川駅前プラザ

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 来賓祝辞
- 4 来賓紹介
- 5 施設概要説明
- 6 テープカット
- 7 閉会

資料3

担当：総務部防災安全課消防係 林 彰康 電話0279-22-2130 内線2183

件名：「市職員の消防団活動への参加について」の 市長メッセージについて

- 1 目的 全国的に消防団員数が減少する傾向にあるなかで、本市においても消防団員の確保は重要な課題となっているため、市職員の消防団への参加協力を依頼するものです。
- 2 内容 本年8月30日に開催された市長と消防団員の対話集会の中で、消防団員より市職員の消防団への参加協力の提案があり、この提案を受け市長が職員に対しメッセージを発信するものです。
- 3 渋川市消防団の現況
 - (1) 消防団定数652人、現団員数620人(9/1現在)
 - (2) 市職員である団員数85人(団員現数の13.7%)
- 4 市長メッセージ 別添のとおり

市職員の消防団活動への参加について

浜川市職員の皆様には、職務の傍ら、消防団を含め、様々な地域のボランティア活動に参加していることに、心から感謝します。

現在、浜川市消防団では団員が不足している状況にあります。

地域の防災力を強化するために、消防団員の確保が不可欠です。

あらためて、消防団員不足の窮状と、地域における消防団活動の重要性を考え、市職員の消防団活動への参加をお願いします。

平成30年10月1日

浜川市長

高木 勉

資料4

担当：総合政策部新政策課政策第一係 西島 薫 電話0279-22-2396 内線2422

件名：「日中国交正常化45周年及び日中平和友好条約 締結40周年記念講演」について

- 1 目 的 渋川市国際交流協会では、世界の国々や地域の文化などについての理解を深めるため、様々な方を講師にお迎えし、毎年国際理解講座を開催しております。
今回は、日中国交正常化45周年及び日中平和友好条約締結40周年を記念し、「日本はどう外国と付き合うのか」などについて、講演いただきます。
- 2 日 時 平成30年10月5日（金）
午後2時～午後3時30分（終了予定）
- 3 会 場 ホワイトパーク
（渋川市石原1600番地1）
- 4 講 師 元内閣総理大臣 福田 康夫 氏
- 5 参 加 料 無料
- 6 参加対象 渋川市国際交流協会会員、市内外在住一般人
- 7 定 員 200人（先着順）
- 8 主 催 渋川市国際交流協会
後援：渋川市
- 9 参加申込 渋川市国際交流協会事務局（渋川市役所新政策課内）
※当日の受付も可

資料5

担当：総合政策部新政策課シティプロモーション係 須田仁美
電話0279-22-2182 内線2414

件名：対話集会の開催について

1 目的

市民参加のまちづくりを進め、市長が市民の皆さんとの直接の対話を通じて身近なまちづくり施策に市民の声を反映させることを目的に年に数回、毎年開催しています。

今回は今年度5回目の開催で、児童生徒の幸福な成長を図り、PTAの健全な発展を促進し、教育の振興を図ることを目的として活動している渋川市小中学校PTA連絡協議会の皆さんと対話集会を行います。

2 開催概要

【第5回】

- (1) 開催日時 平成30年10月4日(木) 午後7時(概ね2時間程度)
- (2) 開催場所 渋川市役所本庁舎 第1応接会議室
- (3) 参加団体 渋川市小中学校PTA連絡協議会の皆さん

参考：今年度の実施結果

【第1回目】

- ・実施日時 5月22日(火) 午後2時～4時30分
- ・実施場所 小野上公民館 講義室
- ・実施団体 渋川・北群馬地区更正保護女性会小野上支部、おのがみレディースクラブ、小野上小学校PTA、小野上地区子ども育成会連絡協議会、マンマ・おのがみ(参加者数15名)

【第2回目】

- ・開催日時 5月29日(火) 午後2時30分～4時30分
- ・開催場所 子持公民館 第1学習室
- ・実施団体 子持地区生涯学習フェスティバル実行委員会、渋川市子持地区民生委員児童委員協議会(参加者数10名)

【第3回目】

- ・開催日時 7月12日(木) 午後2時～4時
- ・開催場所 中央公民館 講義室
- ・実施団体 平成29年度中央公民館演技発表会運営委員会、平成29年度中央公民館定期利用団体作品展運営委員会(参加者数15名)

【第4回目】

- ・開催日時 8月30日(木) 午後7時～9時
- ・開催場所 渋川市役所 第1応接会議室
- ・実施団体 渋川市消防団(参加者数15名)

資料6

担当：総合政策部新政策課政策第一係 西島 薫 電話0279-22-2396 内線2422

件名：平成30年度第1回渋川市総合教育会議の 開催について

- 1 目 的 市と教育委員会の相互の連携を図り、より一層の民意を反映した教育行政を推進するため、渋川市総合教育会議を開催します。
- 2 日 時 平成30年10月16日(火)午前10時から
- 3 場 所 市役所本庁舎3階大会議室
- 4 出席予定者 市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員
【関係職員】
総務部長、総合政策部長、保健福祉部長、財政課長、
新政策課長、スポーツ課長、社会福祉課長、こども課長、
教育部長、教育総務課長、学校教育課長、学校給食課長、
生涯学習課長、文化財保護課長
- 5 内 容
(1) 平成29年度決算概要報告
(2) 平成30年度各種事業の取り組みについて
(3) 学力向上について
- 6 事 務 局 新政策課 政策第一係
- 7 そ の 他 会議は原則公開で行います。
- 8 参 考
総合教育会議
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成26年法律第76号)が改正(平成27年4月1日施行)されました。
この法律の中で、地方公共団体の長と教育委員会との連携の強化を目的とした「総合教育会議」を設けることと規定されております。

資料7

担当：教育部生涯学習課生涯学習係 熊迫徳三 電話0279-22-2500 内線4955

件名：平成30年度渋川市民総合文化祭の開催について

- 1 目的 渋川市民総合文化祭は、市民が文化祭での発表を通じて自己実現することにより、生きがいを見つけ出し、その活動が地域の文化振興に寄与することを目的に開催するものです。
また、文化祭の来場者が気軽に参加できる機会を充実させ、文化活動への興味関心を喚起し、幅広い世代に向けて文化活動の普及振興を目指します。
- 2 内容 展示作品を一堂に会した総合作品展（文学、手工芸、美術、写真等）及び部門ごとの演技発表会
- 3 事業の概要
 - (1) 開催日時 平成30年10月13日（土）～12月16日（日）
※部門ごとの日時は別添のとおり
 - (2) 会場 北橋ふれあいセンター（渋川市北橋町真壁2354）
金島ふれあいセンター（渋川市金井1999）
子持社会体育館（渋川市吹屋658-10）
赤城公民館（渋川市赤城町敷島568-1）
子持公民館（渋川市吹屋380-1）
 - (3) 発表者 渋川市文化協会加入の26部門の団体及び一般公募作品
 - (4) 渋川市障害者等理解促進研修・啓発事業（社会福祉課）との連携
総合作品展（展示部門が一堂に会する作品展）において、市内障害福祉サービス事業所4者が販売コーナーを設置（品物がなくなり次第終了）
 - (5) 昨年の参加数 展示部門発表者 659人、来場者2,508人
演技部門発表者 1,452人、来場者3,753人
- 4 主催 渋川市・渋川市教育委員会
主管 渋川市文化協会
- 5 入場料 無料（ただし総合作品展体験コーナーは実費負担）



渋川市民総合文化祭

平成30年度渋川市民

総合文化祭

入場無料



北橋公民館(ふれあいセンター)

演技部門：ホール

器楽発表会	10月13日(土)	12:30~16:40
合唱発表会	10月14日(日)	13:30~16:00
日本舞踊発表会	11月4日(日)	13:00~16:00
歌謡発表会	11月11日(日)	9:30~17:00
民族舞踊発表会	11月17日(土)	13:00~17:00
邦楽発表会	11月24日(土)	13:00~16:00
舞踊発表会	12月16日(日)	13:00~16:00

金島公民館(ふれあいセンター)

演技部門：ホール

詩吟発表会	10月14日(日)	9:20~16:30
新舞踊発表会	11月4日(日)	10:30~16:00
民謡・民舞発表会	11月25日(日)	10:30~16:00

赤城公民館

演技部門：ホール

歌舞伎発表会	11月18日(日)	10:30~15:00
展示部門：第1・2学習室		
囲碁将棋	11月11日(日)	9:00~15:00

子持公民館

演技部門：ホール

ダンス発表会	11月25日(日)	12:30~16:30
--------	-----------	-------------

子持社会体育館

演技部門：サブアリーナ

郷土芸能発表会	11月11日(日)	12:20~15:30
展示部門：アリーナ・ロビー		
	11月10日(土)・11日(日)	
	9:00~17:00(11日は16:00まで)	

総合作品展

文学・書道・手工芸・美術・写真・華道・盆栽・園芸・一般公募

茶道	10:00~15:00(入席14:30まで)
香道	11日のみ10:00~14:30

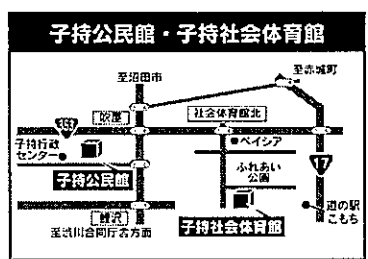
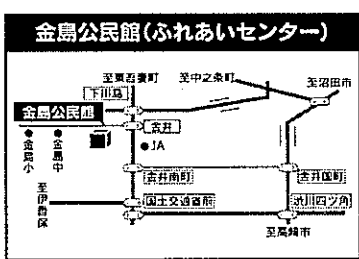
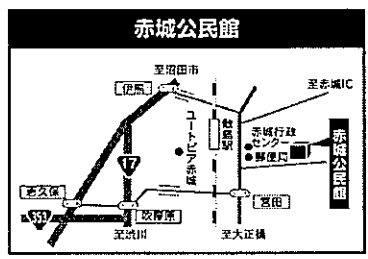
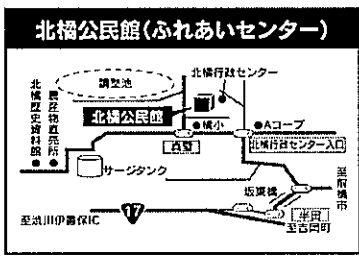
●体験コーナー

「手芸体験」材料費：300円程度

「鉄道模型の操作体験」参加料：無料

●障害福祉サービス事業所コーナー

手工芸品、食料品などの販売を予定



資料8

担当：教育部美術館管理学芸係 須田真理 電話0279-25-3215

件名：企画展示「龍窯 受け継がれてゆくもの」の 開催について

- 1 目的 寄贈された南雲龍氏等の美術作品を紹介し、市民等に鑑賞してもらう。
- 2 内容 南雲龍氏より4月に寄贈を受けた作品を中心に南雲氏が構える「龍窯(りゅうよう)」という窯を継承してゆくとは、どのようなことなのか。また、2005年には、渋川市に窯を移し、後継者と共に作陶しています。窯を受け継ぎ、伝え、後継者へと繋げてゆく姿を龍窯で作陶する6人の人々を紹介します。
展示作品は、2004年と今年4月に寄贈いただいた作品を40点程度と、各作家の新作(7点)を紹介します。
- 3 日程 平成30年10月5日(金)～11月4日(日)
[開館日数31日間/休館日4日間]
午前10時～午後6時/火曜休館
- 4 場所 3階 企画展示室
- 5 入館料 無料
- 6 レセプション 10月4日(木)14:00～(30分程度)

参考

南雲 龍氏について

南雲龍(1931-)は、文禄慶長から受け継がれてきた窯を継承し作陶を続けています。その作品は、探求心あふれるもので、1970年代には陶に併せて樹脂を使った作品を発表し、それまでに連々と綴られてきた陶芸の世界に一石を投じました。そして“陶芸”ではなく、“セラミックアート”という呼び名を掲げ、さらなる創作を続けてきました。先代の十七代の父・香風は、群馬にあった窯を1957年に東京に移転させました。そして、窯を受け継いだ十八代の龍は、1961年に神奈川に築窯します。その後、1982年には山梨へと移り、2005年には生まれ故郷である群馬の渋川へ場所を移しました。場所を移しながらも、そこに受け継がれてきたものを辿りつつ、現代の陶の世界をご紹介します。

現在は、19代目の南雲龍比古氏を始め、窯を継承するであろう、若い作家等と共に制作をしています。

南雲龍氏の渋川市とのかかわり

渋川市美術館は、市にゆかりのある作家として、平成14(2002)年に企画展「南雲龍展 陶に臨む—セラミックアートの世界」を開催する。平成16(2004)年3月には、62点の作品を当市に寄附する。平成17(2005)年に当時山梨県に開窯していた窯を群馬県渋川市に移転する。

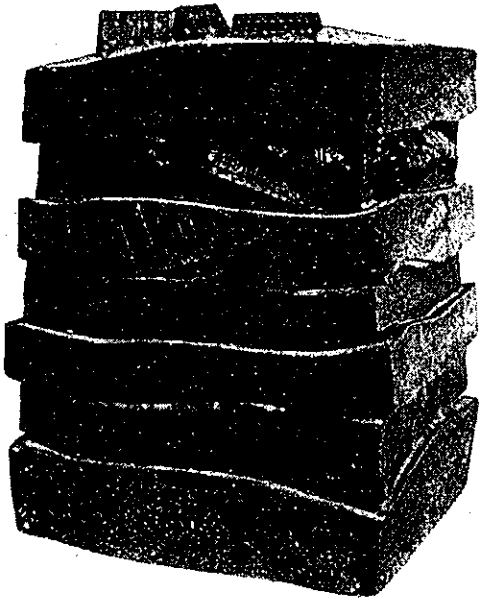
平成18(2006)年2月20日の市町村合併に先駆け、南雲龍氏にモニュメントの制作を依頼し、平成18年1月30日に完成する。平成18年10月には、市町村合併とモニュメントの落成、さらに当市に寄附した南雲氏の収蔵作品を中心とした企画展「新市誕生記念 龍窯十八代 窯を継承するということ」を開催する。

平成26(2014)年には、企画展「なんなん？どうなん？そうなんだ！2014 内側から見る美術：工芸」と題し、南雲氏の作品を中心として工芸の世界を紹介する。

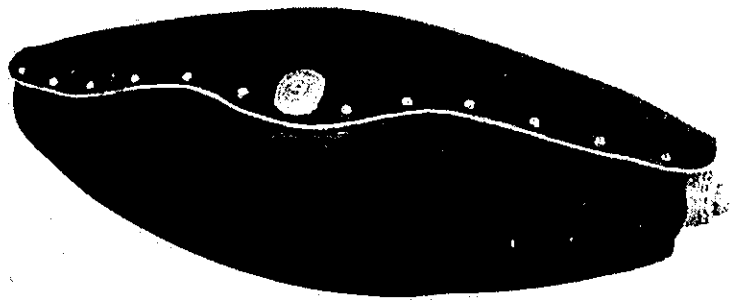
今年度初めには、継承する作家等の作品を含め100点を寄贈する。

龍窓

受け継がれて
ゆくもの



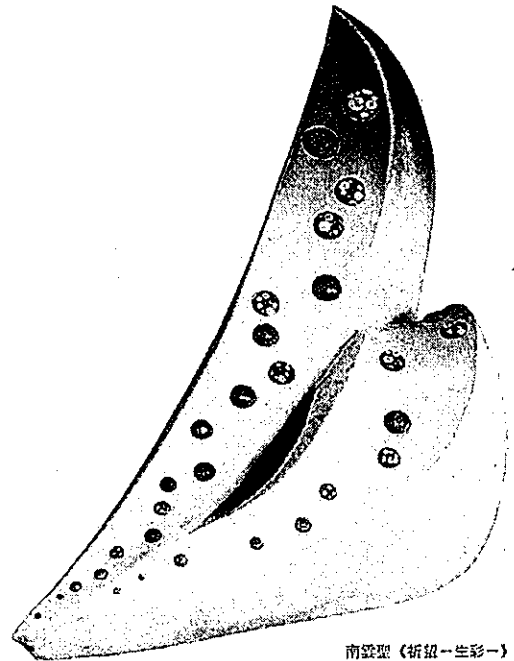
南露龍《大地は語り部》



南冥龍比古《宇宙からのメッセージ》



今井龍《首里の天高く》



南雲型《折紙一生彩》

2018
10.5(金)
-11.4(日)

会場：3階 企画展示室
開館時間：10時～18時（入場は17時30分まで）
火曜休館 観覧無料

渋川市美術館 桑原巨守彫刻美術館
〒377-6608 群馬県渋川市渋川(新町)1901-24 TEL0279-25-3215

南雲龍(1931-)は、文禄慶長から受け継がれてきた窯を継承し作陶を続けています。その作品は、探求心あふれるもので、1970年代には陶に併せて樹脂を使った作品を発表し、それまでに連々と綴られてきた陶芸の世界に一石を投じました。そして“陶芸”ではなく、“セラミックアート”という呼び名を掲げ、さらなる創作を続けてきました。先代の十七代の父・香風は、群馬にあった窯を1957年に東京に移転させました。そして、窯を受け継いだ十八代の龍は、1961年に神奈川に築窯します。その後、1982年には山梨へと移り、2005年には生まれ故郷である群馬の渋川へ場所を移しました。場所を移しながらも、そこに受け継がれてきたものを辿りつつ、現代の陶の世界をご紹介します。

龍窯十八代 南雲 龍 略歴
 1931年 群馬県に生まれる
 1951年 金沢市立金沢美術工芸大学卒業

研究歴／十七代南雲香風に師事
 国立京都陶磁器試験所修業
招待出品／スペイン陶芸展招待出品(マラガ市・ロンダ市)
 カナダ・バンクーバーEXPO '89招待出品
 現代陶芸選抜展招待出品(日本陶磁協会主催)
作品収蔵先／スペイン国立陶芸美術館(パレンシア)
 山梨県立県民文化ホール(陶壁)
 スペイン・マラガ・ロンダ市美術館
 石川県立美術館
現在／(社)日展参与・日展群馬会代表
 (社)現代工芸美術家協会顧問・群馬山梨会顧問
 旭日小綬章・紺綬褒章・賜杯受章
 群馬県功労者顕彰・群馬県知事表彰
 なかとみ現代工芸美術館館長
 群馬県美術会副会長

今井 彰 略歴
 1969年 神奈川県に生まれる
 1993年 沖縄県立芸術大学卒業

研究歴／十八代南雲龍に師事
展覧会歴／日展
 日本現代工芸美術展
 現代工芸山梨会展
 群馬現代工芸美術展
 スペイン陶芸展招待出品
 セラミックアートFuji国際ビエンナーレ
 女流工芸作家展
 群馬県美術展
 沖縄現代陶芸展
 南雲陶芸五人展(群馬)
 南雲龍・龍比古・彰 父子展(群馬)
受賞歴／日本現代工芸美術展
 現代工芸山梨会展
 セラミックアートFuji国際ビエンナーレ
 群馬県美術展
作品収蔵先／沖縄県立芸術大学
 スペイン国立陶芸美術館
 吉岡町文化ホール 他
現在／(社)日展会友
 (社)現代工芸美術家協会評議員
 紺綬褒章受章

南雲 聖 略歴
 1978年 東京都に生まれる
 1999年 横浜美術短期大学卒業
 2001年 横浜美術短期大学専攻科修士学位取得

研究歴／十八代南雲龍に師事
展覧会歴／日展
 日本現代工芸美術展
 セラミックアートFuji国際ビエンナーレ
 群馬現代工芸美術展
 群馬県美術展
 山梨現代陶芸展
 国際七宝作家協会展
 南雲龍比古・辻垣内聖二人展(前橋)
 南雲陶家技の競演(ノイエス朝日・前橋)
 辻垣内聖 陶・七宝展 - the ceramic industry
受賞歴／日本現代工芸展
 群馬県展
 群馬現代工芸美術展
 神奈川七宝展
作品収蔵先／群馬県
 吉岡町文化ホール
現在／(社)日展会友
 (社)現代工芸美術家協会本会員
 紺綬褒章受章

龍窯十九代 南雲 龍比古 略歴
 1966年 神奈川県に生まれる
 1989年 金沢市立金沢美術工芸大学卒業

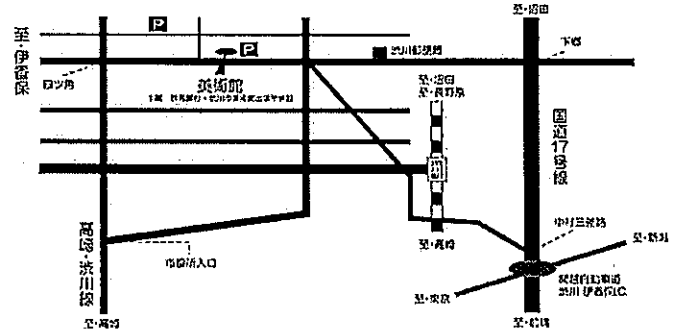
研究歴／十八代南雲龍に師事
展覧会歴／日展
 日本現代工芸美術展
 セラミックアートFuji国際ビエンナーレ
 新世紀の旗手展(なかとみ現代工芸美術館)
 スペイン陶芸展招待出品
 龍窯展(高崎高島屋)
 南雲陶家技の競演(ノイエス朝日・群馬)
 「技に迫る～南雲龍比古～」(群馬テレビ)出演

受賞歴／日展
 日本現代工芸美術展
 セラミックアートFuji国際ビエンナーレ
作品収蔵先／スペイン国立陶芸美術館(パレンシア)
 山梨県婦人総合会館
 山梨県中富中学校
 山田造形美術館
現在／(社)日展会友
 (社)現代工芸美術家協会評議員・代議員
 現代工芸美術家協会群馬山梨会会長
 群馬県美術会理事
 紺綬褒章・賜杯受章
 群馬県立女子大学非常勤講師

南雲 龍人 略歴
 2003年 山梨県に生まれる
 幼時より作陶を始める
展覧会歴／群馬現代工芸美術展
 陶芸展「セラートピア」～生活に楽しさを～(群馬)
 第57回 日本現代工芸美術展
受賞歴／群馬現代工芸美術展

南雲 龍生 略歴
 2008年 群馬県に生まれる
 幼時より作陶を始める
 小学2年より電動ロクロを始める

展覧会歴／全国子供陶芸展(茨城)
 個展「南雲龍生作陶展～420年の伝統を紡ぐ～」
 龍窯425周年記念特別展
 「お茶を点てよう！」茶壺三代展
 十九代南雲龍比古作陶展 特別出品
 陶芸展「セラートピア」～生活に楽しさを～(群馬)
受賞歴／全国子供陶芸展



◆電車をご利用の場合◆JR高崎線上野駅より快速で約1時間30分及び上越・長野新幹線東京駅より約1時間、湘南新宿ライン新宿駅より1時間50分前後で高崎駅到着
 ◇JR上越線に乗り換えて約25分で渋川駅より徒歩8分、またはJR高崎線上野駅より在来線の特急で約1時間40分◇渋川駅より徒歩8分◆自動車をご利用の場合◆圏道道練馬インターから約1時間◇渋川伊香保インターで降り通常約10分
 ※詳しくは美術館までお問い合わせ下さい。